

# 令和4年度事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

一般財団法人機能水研究振興財団

理事長 堀田 國元



令和5年6月

## 令和4年度事業活動の概要

令和4年度は、堀田國元代表理事(理事長)、菊地憲次(常務理事:事業担当)、小室昭(常務理事:財務担当)、11名の理事(石井良和、石渡幸則、岩澤篤郎、川口寿之、佐藤勉、戸室淳治、錦善則、野田衛、藤原功一、本間茂、森澤紳勝)、2名の監事(八木澤守正、宮下奈穂)の役員体制、および事務局3名(中藤誉子、福島宏和、清水雅俊)体制で事業運営を行った。事業活動に関しては、公益目的支出計画の達成を念頭に、事業計画・予算に基づいて実施した。以下にその概要を示すが、中でも調査研究事業の成果として、「ダイヤモンド電極を用いた機能水センサーの事業化」に向けた新規共同研究の開始、また、普及促進事業における新分野、コロナ禍における空間浄化プロジェクト中間報告、さらに(公財)ルイ・パストゥール医学研究センターとの共同事業(生物安全実践講習会)を実施したことが特筆される。

## 令和4度事業報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

### 1. 理事会・評議員会・委員会等活動

#### 1) 理事会

2回開催: 通常2回(第17回6月9日、第18回3月8日)

#### 2) 評議員会

1回開催: 定時1回(第9回6月9日)

#### 3) 委員会

##### ① 飲用アルカリ性電解水評価委員会:

アルカリイオン整水器検討委員会委員がコアとなって構成し、アルカリイオン水の作用機序その他に関する助成研究受託者による成果報告と討論。

- ・ 研究検討委員会: 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- ・ 研究成果発表: 年度報告書

##### ② 次亜塩素酸水生成装置 JIS 化委員会:

- ・ 日本規格協会令和4年度原案作成公募にて改正原案作成
- ・ 経済産業省および日本規格協会経由問合せ対応
- ・ 日本品質保証機構 プライベート認証システム広報

##### ③ 内視鏡洗浄消毒器委員会:

- ・ 「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」対応
- ・ 杉並保健所胃内視鏡検診機能水導入に関する対応

##### ④ 賛助会員会合: 普及促進事業報告、調査研究事業報告、新規事業支援・検討

##### ⑤ 機能水広報委員会: 戦略的広報のあり方等について議論

## 2. 研究助成事業

### 1) 飲用機能水の作用機序や新生理作用に関する調査研究

東村 泰希 (石川県立大学 准教授)

分子状水素溶存アルカリ性電解水が免疫グロブリン A を介した腸管粘膜免疫へ及ぼす効果検証と食餌組成の関与について

### 2) アルカリイオン水の生理作用に関する研究

小山 勝弘 (山梨大学大学院総合研究部・教育学域・人間科学系 教授)

アルカリイオン水が伸張性収縮運動後の筋パフォーマンスに及ぼす影響-疲労抑制効果と回復促進効果-

### 3) 酸性電解水(次亜塩素酸水)に関する新規用途に関する研究

渡辺 香織 (愛知文教女子短期大学)

各種電解水による新たなアレルゲンおよび微生物制御効果の探索

## 3. 調査研究事業:

### <共同企画研究>

#### ① 次亜塩素酸水を活用した空間浄化に関する研究

機能水工業部会ほか

#### ② ダイヤモンド電極を用いた有効塩素濃度センサーの実装に関する研究

ニプロ(株)、(株)コスモテクノ

### <研究協力>

ルイ・パストゥール医学研究センター公募研究支援

## 4. 普及促進事業活動

事務局が主体となって以下の活動の企画・実施、あるいは支援を行った。

### 1) 特別会員等活動支援

#### ① 機能水研究振興財団: ・研修会3回(7月東京、10月東京、3月東京)

#### ② ウォーター研究会: ・セミナー共催: 第84回(7月東京)、第85回(10月東京)、第86回(3月東京)

#### ③ 日本機能水学会: ・第20学術大会(10月東京)

・日本口腔機能水学会: 第24回学術大会後援: 倉敷

#### ① ルイ・パストゥール医学研究センター: 機能水研究に関する活動支援

生物安全実践講習会共催(6月、11月、2月)

#### ② アルカリイオン整水器協議会: 幹事会6回/年、広報委員会8回/年、広報活動(HP等管理)

#### ③ 微酸性電解水協議会: 総会3回(臨時5月、6月、総会7月)

#### ④ 日本電解水協会: セミナー講師協力

### 2) 対外活動

#### ① 展示会・講演会など

・ ifia JAPAN 2022(5月)、食品ニューテクノロジー(11月)

#### ② 本・雑誌執筆

食品化学新聞: 月刊フードケミカル(9月)、日本食品工業倶楽部: 月刊 食品機械装置(12月)、

日本食品衛生協会: 月刊 食品衛生研究(12月)、賛助会員企業広報誌

3) その他広報・出版物

- ① 上記成果について随時ホームページにアップ
- ② ニュースレター発行: 6回(No.107~112) 号外2号
- ③ 各種既出版物の頒布

4) コンサルティング

- ① 生成装置等開発・販売に関する相談業務(賛助会員:無料 一般企業:有料)
- ② 公共団体、一般等からの機能水に関する各種問合せへの対応

5. 組織および規定

1) 役員・評議員: 以下の役員(理事・監事)および評議員からなる執行体制(令和4年6月23日登記)。

【評議員】12名

荒川真一、上沼義尚、川村延彦、小宮山寛機、才原康弘、鈴木鐵也、谷口昌弘、田原周夫、富田 守、村松光二、堀 晋司、吉川敏一

【理事】14名

代表理事: 堀田國元(理事長)

理事: 菊地憲次(常務理事)、小室昭、(常務理事)、石井良和、石渡幸則、岩澤篤郎、川口寿之、佐藤勉、戸室淳治、錦善則、野田衛、藤原功一、本間茂、森澤紳勝

【監事】2名

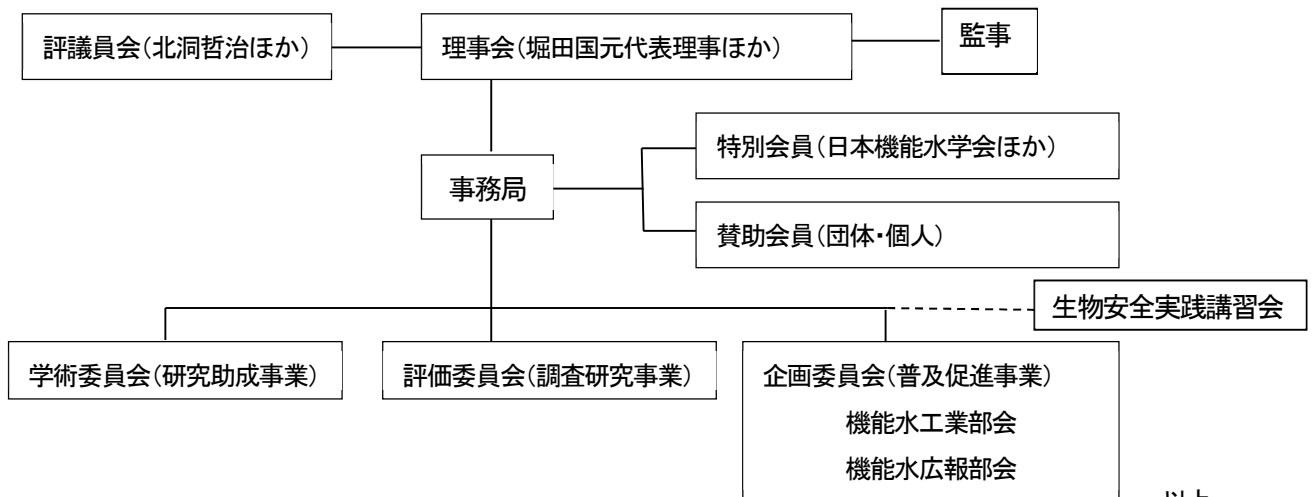
八木澤守正、宮下奈穂

2) 事務局体制

堀田國元(理事長)、秋山(中藤)誉子、清水雅俊(事業担当)および福島宏和(会計担当)の4名体制で業務に当たった。また、理事運営委員(菊地憲次、小室昭)によるチェックと指導を随時受けた。

3) 賛助会員および特別会員

- ① 賛助会員: 令和4年度中1社入会、令和4年度末8社退会 令和5年3月末で団体49社、個人11名。
- ② 特別会員: 令和5年3月末で7団体(日本機能水学会ほか)。
- ③ 機能水工業部会: 企画委員会(普及促進事業)につながり、「空間浄化プロジェクト」などプロジェクト毎に関係賛助会員による委員会を構成し活動。
- ④ 機能水広報部会: 企画委員会(普及促進事業)として、関係賛助会員による委員会を構成し活動。



以上